



桜の木のように

二川小学校 六年 緒方 寧々

私には、得意なことがありません。走ることです。自分の得意なことをさらに伸ばしたいと、昨年からは陸上を習い始めることにしました。近くには陸上クラブがないため、少し離れた陸上クラブに通うことになりました。もちろん、そのクラブには知っている人はいません。いつもであれば、自分から声をかけることができるのに、どうしても勇気が出ませんでした。そうしているうちに一人でいることに慣れてしまい、一年が過ぎてしまいました。周りからは一人でいても平気な人だと思われていたかもしれませんが、本当はみんなと仲良くしたいのに、「今さら無理だ。」とあきらめてしまっていたのです。

そんなある日、一人の子が話しかけてきました。「ずっと、話してみたいと思ってんだ。」その言葉に私の心はぼっと明るくなりました。たった一言で、誰かの心を明るくできるって素敵だなと思いました。そのことがあってか

ら、陸上クラブに通うことが待ち遠しくなり、練習も前より楽しくなりました。新しくクラブに体験に来る子にも、自分から話しかけるようにしています。私には、たくさんの友達がいま。そして、私のことを大切に思ってくれる家族がいます。毎日、見守ってくれる地域の方々もいます。私は、たくさんの人に支えられながら、今、毎日楽しく過ごしています。私にできることは、私にできることだけ。私にできることを、私にできる人へ。私にできることを、私にできる人へ。私にできることを、私にできる人へ。

母親は「その飲み物は障がい者が触ったものだからだめ。」と言って諦めさせたそう。この話を聞いて、とても驚いた。大人が子どもにそんなことを言うなんて信じられなかった。差別でしかない。大人は子どものお手本にならない。差別が受けた差別と同じ感じがした。「自分と違う」という理由だけで人を下に見ているのだ。これは絶対に許せない。聞いて腹が立った。自分が軽く放った一言が、実は相手ですごく嫌な思いをしていたり、深く傷ついたりしていることもある。自信をなくし、誰にも相談できず、この世に自分はいらないと自ら命を絶つ人もいます。とても恐ろしいことだ。どうすればこのような差別がない、キング牧師が望んだような世の中になるのか考えてみた。自分が行動するときは、それが自分がされて嫌なことではないか、かをもう一度考えてから話したり行動したりすることが大事だと改めて思った。これをすべし側にいる家



【先生のコメント】様々な経験があったからこそ、今の寧々さんの優しさがあるので、誰にもしてほしくない、みんなが笑顔で楽しく過ごしてほしいという気持ちは、学級の人々にも伝わっています。それに、桜の木も、寧々さんや二川小学校の子ども達を見守っていると思います。周りにいる人を大切にできる人は、周りの人からも大切にされる人です。みんなの幸せを願っている寧々さんなら、周りの人からも大切にされることだと思います。周りの人へのちよつとした気遣いや、温かい言葉かけが広がっていくことを、私も願っています。



キング牧師から学んだこと

瀬高中学校 一年 北島 晴生

I have a dream. (私には夢がある) これは、マーティン・ルーサー・キング・ジュニアが行った演説の有名な一説だ。肌の色関係なく、みんなが自由の国にしたい。

この演説は世界中から支持され、キング牧師は一九六四年にノーベル平和賞を受賞した。キング牧師が行った演説や行動は、多くの人に影響を与えたという。本当に素晴らしい人だと思う。しかし、差別は減ったものの、完全になくなつたわけではない。最近でも、アメリカで何の罪もない黒人の男性が銃で撃たれて亡くなつてしまつたという事件もあった。

黒人と白人の人種差別以外にも、身の回りにはたくさん差別がある。男女差別、コロナ感染者への差別、SNS内での誹謗中傷、そして、障がい者に対する偏見……。こんな話を聞いた。体が障がいのある人が自動販売機でジュースを買っていた。そのすぐ後ろに小さな子どもとその母親が並んでいた。同じ飲み物を欲しがる子どもにも

母親は「その飲み物は障がい者が触ったものだからだめ。」と言って諦めさせたそう。この話を聞いて、とても驚いた。大人が子どもにそんなことを言うなんて信じられなかった。差別でしかない。大人は子どものお手本にならない。差別が受けた差別と同じ感じがした。「自分と違う」という理由だけで人を下に見ているのだ。これは絶対に許せない。聞いて腹が立った。自分が軽く放った一言が、実は相手ですごく嫌な思いをしていたり、深く傷ついたりしていることもある。自信をなくし、誰にも相談できず、この世に自分はいらないと自ら命を絶つ人もいます。とても恐ろしいことだ。どうすればこのような差別がない、キング牧師が望んだような世の中になるのか考えてみた。自分が行動するときは、それが自分がされて嫌なことではないか、かをもう一度考えてから話したり行動したりすることが大事だと改めて思った。これをすべし側にいる家

【先生のコメント】先日、中学校で初めての人権学習が行われました。「互いの違いを認め合おう」という内容です。とても晴生君は、しっかり考え、「個性」を大事にすることの大切さを学んだようです。肌の色が違うことも個性。障がいがあることも個性。男女の違いも、そのことを皆がちゃんと受け入れられると、差別や争いはなくなるはずですが……。晴生君にはこれからも学習を積み重ね、世の中にはびこる「おかしさ」に気づくことができる人権感覚を養ってほしいと願っています。

風船に願いをこめて

10月28日、開小学校で3年生の児童7人と人権擁護委員などが参加し、エコ風船を飛ばしました。エコ風船は土にかえる優しい素材でできています。

この取り組みは、人権の花「ひまわり」を育てることで命の尊さを実感し、優しい思いやりの心を育むことを目的としています。

5月に種をまき、育てて収穫したひまわりの種を、思い思いのメッセージを書いた手紙とともにエコ風船に取り付けました。カウントダウンに合わせて一斉に飛ばした風船を歓声とともに手を振って見送りました。



みやま市男女共同参画講演会

「男女がともに活躍できる社会」へ

- 日時 令和4年12月11日(日) 午後1時30分～3時30分
- 場所 総合市民センター(MIYAMA)
- 内容 講演「男女共同参画社会の実現に向けて」
- 講師 NPO法人福岡ジェンダー研究所／倉富史枝氏
- ※申し込み不要
- 人権・同和対策室(TEL 64・1544)

みやま市・柳川市事業主 人権・同和問題研修会

- 日時 令和5年1月25日(水) 午後1時30分～4時
- 場所 水都やながわ
- 内容 講演「部落差別の歴史的背景と現在の部落差別」(仮)
- 講師 福岡県同和問題をはじめとする人権問題に係る啓発・研修講師団講師／西尾紀臣氏
- 申込期限 令和5年1月16日(月)
- 申込方法 申込書を直接またはファクスにて提出、ホームページからも申し込み可
- ※申込書は人権・同和対策室または各支所市民サービス係、ホームページに備えています
- 人権・同和対策室 (TEL 64・1544 / fax 64・1514)